

太陽の国のこれまでの見直しの状況・新たな課題等

【参考資料1】

平成28年6月10日現在

区分	施設名	施設の種別	定員		あり方見直し(H17.3.30)	これまでの見直しの状況	社会情勢の変化等を踏まえた新たな課題等	備考
			H15	H28				
指定管理施設	ひばり寮	障害者支援施設 (旧身体障害者更生施設)	100	100	<ul style="list-style-type: none"> 県全体を対象とした総合的なりハビリテーションの拠点として位置づけ、県立施設として運営する。 利用者の地域生活への移行を進めて、既存の利用定員を段階的に縮小する。 		<ul style="list-style-type: none"> 入所者が重度化しており、車いす等の利用を考慮すると現在の施設では、施設の狭隘化が顕著になっているとともに、施設の老朽化が激しく、計画的に建替え等を検討する必要がある。 	
	けやき荘	障害者支援施設 (旧知的障害者更生施設)	100	100				
	かしわ荘	障害者支援施設 (旧知的障害者更生施設)	100	100				
	かえで荘	障害者支援施設 (旧知的障害者更生施設)	100	100				
	太陽の国病院	外来：7診療科 病床数：21床（一般）	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障がい、自閉症等を併せ持ち医療的なケアを必要とするなど、処遇困難な者が多いため、当面は引き続き県立施設として運営する。 利用者の地域生活への移行を進めて、既存の利用定員を段階的に縮小する。 	<ul style="list-style-type: none"> H18年度から太陽の国施設（障がい者支援4施設、病院、共通施設）を一括して公募・指定している。 【H18～指定管理：社会福祉事業団】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事者（医師・薬剤師・診療放射線技師等）の確保が困難な状況にある。 施設での看取りの推奨などにより、入院稼働率が下がり、収支が悪化しており、診療体制の見直しを行う必要がある。 	
	厚生センター	宿泊施設・研修施設	—	—				
	勤労身体障がい者体育館	体育館	—	—				
中央公園	公園	—	—					
管理センター	太陽の国事務局施設	—	—					
委託管理施設	給食センター	太陽の国の食事提供業務	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 中・長期的に規模を縮小するとともに、老朽化等により施設の改築を行う場合は、他地域への移転も含めて検討し、各施設が独立して運営できるよう整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 単独ボイラー及び合併浄化槽設置により、施設として独立。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が老朽化しており、耐震化工事等必要な修繕を計画的に行う必要がある。 委託化した場合と両センターを継続した場合の効率性を再度検証する必要がある。 	
	洗濯センター	太陽の国の洗濯業務	—	—				
	終末処理場	汚水処理施設	—	—				
	エネルギーセンター	熱エネルギー供給施設	—	—				
	白樺寮	職員寮	—	—				
			—	—				